



全村博物館構想は、身の周りにある良いものをみんなで一緒に探して、学んで、この村で楽しくやっという活動です。



村内各所で、いろいろな種類の梅が満開を迎えています。
(駒場・安布知神社)

【発行・問合せ】

阿智村役場 協働活動推進課
全村博物館構想事務局
TEL0265-43-2220 FAX43-2351
achi.zenshonhaku@gmail.com

2023年3月20日

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、学習会・イベント等を中止する場合があります。詳細は村の無線放送やCATV、全村博のHP・SNSをご確認ください。

3/13 報告会「心に残る村の古文書と村での一年」

1年間阿智村で古文書調査を行った柘植幹雄さんの報告会を開催し19名が参加しました。柘植さんは宮崎県立図書館で島津藩の文書を解説・整理する仕事をしていたが「地域の暮らしが分かる文書を読みたい」と、昨年春に来村しました。

柘植さんは「古文書の原本は家の宝であり村の宝。大事に引き継いでいくためにはデジタルデータ化が必要」と、村内の古文書をデータ化する作業をご夫婦でボランティアで行いました。また、全く初めて古文書にふれる人向けにと初心者向け古文書講座を実施しました。柘植さんは「阿智村は住みがいのある村、住んで良かった。これも皆さんとの出会いがあったから」と話しました。

参加者は「柘植さんの講座をきっかけに地域の古文書を整理する取り組みが動き出した」「整理しなければと思って中々できなかったこと。本当に有難い」と話しました。



*柘植さんは仕事の都合で今月末に宮崎へ帰られます。

2月に「そばガレット試食会」を実施しました！

阿智高校生が授業で取り組んだ「そばガレット」を、古民家つばやでの体験プログラムとして発展させようと、駒場にある食堂きたせんと協力してもらい試食会を開催しました。

当日は授業で取り組んでいた阿智高校生も参加し、ガレットの焼き方を参加者に説明しました。「手軽に楽しめる、焼きたてを食べられるのが良い。」「阿智村産の野菜や鹿肉を使うなど、地産地消にも繋がる。観光客だけでなく地元の人にも楽しんでもらえるのでは」などの感想がありました。



3/13 「地域ガイド養成講座」 in 伍和・栗矢

連続講座「地域ガイド養成講座」の最終回を伍和・栗矢地区で開催し、15名が参加しました。

あいにくの雨でしたが、ガイドの原さんは「雨天時対応の良い練習」と話し、栗矢の回り舞台の中をじっくり解説しました。回り舞台の2階には昔の農具や生活用品が展示されていて「懐かしい」「これはどうやって使うの?」と参加者の皆さんは興味津々でした。



ジバチを飼っているお家に寄り、育成方法などを聞きました。

地域ガイド「あちこち散歩」始まっています！

現在、駒場、伍和栗矢、智里東中平、智里西園原を案内するコースができました。村内にはまだまだ魅力的な場所があるので、これから増やしていく予定です。地域ガイドも随時募集しています！

最後のまとめでは「これからも定期的に研修会をしたい」「自分の住んでいる地区だけでなく、村内各地区について学びたい」といった意見が出ました。

3/4食のシンポ「浪合ではこんなものを食べてきた」

3月4日に、浪合コミュニティセンターで浪合地区の食に関するシンポジウムが開催されました。主催は浪合楽農クラブです。会長の藤澤英敏さんは「今のうちに浪合の味を残しておかないとなくなってしまう。若い人にぜひ知ってもらいたいと思い企画した。」と話しました。



料理は70代～90代の女性4名を中心に前日から仕込みました。豆腐を巻きすで巻き、茹でて味をつけた『コモ豆腐』や、浪合特産のえごまを使った『えごまだれの蕎麦がき』、各家庭から持ち寄った漬物など10種類ほどが並びました。

参加した人からは「浪合の食文化はその時季に採れる物を保存して大事に食べていると感じた」「これからも浪合の味を教えて欲しい」といった感想がありました。

◎企画展「あちのさくら展」

観覧無料

阿智村には天然記念物の銘桜から、里山を彩る山桜まで様々なサクラがあります。日本で「お花見」といえばサクラの観賞をさすように、人にとって身近で関わり深い花といえます。



本展示では人と桜の関わりを歴史を紹介するとともに、阿智村の桜の写真、地元作家のつくる桜をテーマにした作品を展示します。



展示内容をちょこっと紹介



●阿智村にある桜は何桜？

- ・阿智村にある大木の桜は、ほとんどがエドヒガンという野生種です。
- ・校庭や公園に植えられているのは、大体がソメイヨシノ（園芸種）です。
- ・阿智村で見られる「山桜」の多くはカスミザクラ（野生種）です。

詳しくは展示を観に来て確かめて下さい！

●最初の花見は桜ではなく「〇の花見」だった

- ・日本最古の和歌集「万葉集」に、桜より多く歌に詠まれている花があります。何の花でしょう？

- ・日程 3月18日(土)～5月21日(日)
*火曜休館、駒つなぎの桜開花中は無休
- ・時間 午前9時30分～午後4時30分

熊谷元一写真童画館

◎併設アートギャラリー

「日本の原風景～農山漁村の民家展～」

戦前発行の農林省関連月刊誌「村」の表紙絵を模写した、熊谷元一の水彩画35点と油絵1点を展示しています。ぜひご覧ください。

- ・日程 3月1日(水)～5月22日(月)
- ・時間 午前9時～午後4時30分
- ・休館 火曜日 (3/21は開館)
- ・観覧 無料

観覧無料

行ったことある？ しらひげ
眺めも良いよ！ 白髯神社のフクジュソウ群

駒場・曾山地区にある「白髯神社」鳥居のすぐ横に、フクジュソウの群生地があります。まだつぼみもあるので、ぜひ訪れてみて下さい。(3/16時点)



白髯神社の御祭神は猿田彦命で、導き・道開きの神とされています。阿智村誌には天文年間(1532～1555)に近江の国(滋賀県)から来た者が曾山に住み着き祭神を祀った、との記述があります。



◎「こまんば便り」 駒場区集落支援員：塚田より

● 3/4、5 こまんばマルシェを開催しました

今回のマルシェではパン、御幣餅、甘酒、ガレットなどのキッチンカー、手作り小物など、のべ40店舗が出店し、約400人の方にお越し頂き大変賑わいました。4日は長野朝日放送「駅テレマルシェ」で、ひな祭りやこまんばマルシェの様子が生中継されました。



次回は5月7日(日)、子どもだけのフリマ「わくわく☆フリマ」も同時開催予定です。ぜひお立ち寄りください。

設置新しく、イベントとして使いたいです！



● つぼや玄関に引き戸を入れました。

古民家つぼやの玄関に新しく引き戸を入れてもらいました。引き戸は、駒場で商店をしていたところから譲り受けたものです。それを大工さんに加工してもらい使えるようになりました。正面の塀も綺麗に塗り直してもらいました。段々と在りし日のつぼやの店構えに戻っていくようでとても嬉しいです。

● 3/11 ひな祭りつぼやミニコンサート

3月11日、古民家つぼやでミニコンサートを開催しました。原二三氏(駒場下町)によるチェロ演奏と岡島壮史氏(飯田)による二胡演奏でした。つぼやは音の響きがとても良く、弦楽器による春の調べを楽しみました。

